

この度、第37代第3師団長を拝命した角南陸将です。命により、第3師団の指揮をとります。

53年という長い歴史と伝統を有し、第2の政経中枢都市を含む近畿2府4県の防衛・警備等を担任する作戦基本部隊たる第3師団を指揮・統率する機会を与えられたことは、私にとって誠に光栄であり、同時に責任の重さに身の引き締まる思いがします。また、第3師団の更なる強靱化に向け、全隊員とともに尽力できることを誇りに思います。

さて、わが国周辺を含むアジア太平洋地域における安全保障上の課題や不安定要因は、より深刻化し油断のできない状況にあります。国内においては、気候の変化、特に、台風、低気圧等に伴う局地的な集中豪雨による水害等が多く発生しており、管内では南海トラフ巨大地震への対応が強く求められています。

このような中、自衛隊に対する国民の期待は益々高まっており、第3師団としても、今、何か起きれば、与えられた任務に即応し、英知を絞り持てる力を最大限に発揮して任務を完遂することが求められ、また、将来起こりうる更に厳しい任務を予期しつつ、計画・準備を怠らず、日々厳しい訓練に励んで組織としての力を蓄えておき、事に臨んでは迷うことなく任務を完遂することが必要です。

このため、私の統率方針は前小林師団長の統率方針を引き継ぎ「所命必遂」とします。すなわち、「命じられた任務は必ずやり遂げる」部隊をめざし、努力していきます。

これを実行に移すにあたり、「指揮の要訣の実践」及び「地域との連携」を要望します。

一つ目の「指揮の要訣」は、「指揮下部隊を確実に掌握し、明確な企図の下に適時適切な命令を与えてその行動を律し、もって指揮下部隊をしてその任務達成にまい進させるにある。この際、指揮下部隊に対する統制を必要最小限にし、自主裁量の余地を与えることに留意しなければならない」等とありますが、これを大部隊から小部隊に至るまで、常に愚直に実践することを要望します。一方、指揮下にある部隊・隊員は、その指揮官の企図と命じられた任務を明確に理解して行動し、最大限の努力を傾注し任務達成にまい進していくことが必要です。

もう一つの「地域との連携」は、我々にとって非常に大切な事項です。我々の全ての活動は、地域の営みが存在するこの陸上で行われます。地域からの理解、協力、支援等なくしては、我々の活動は成り立ちません。各部隊は、地域

との連携をしっかりと確保しつつ隊務を運営することを要望します。

以上、着任にあたり統率方針と要望事項等について述べましたが、歴代師団長をはじめとする諸先輩が営々と築かれた第3師団の輝かしい伝統を継承・発展させるべく、師団の先頭に立ち、強靱な第3師団の創造に全力を尽くすことを誓い、着任の辞とします。

平成27年8月4日

第3師団長 陸将 角南 良児